

# 音楽科学習指導案

令和元年10月3日(木)

生徒： 全学年

指導者：

## 1. 音楽部会の重点

・曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する能力を養う。

## 2. 題材名「パートの役割を理解し、曲想を生かして表現を工夫しよう」

(教材「HEIWAの鐘」 中里幸広 作詞・作曲 白石哲也 編曲)

## 3. 目標

〈音楽への関心・意欲・態度〉

・混声三部合唱に関心を持ち、歌詞の内容や曲想を味わって聴いたり、曲にふさわしい表現を工夫して歌ったりしようとしている。

〈音楽表現の創意工夫〉

・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを感じながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。

〈音楽表現の技能〉

・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。

## 4. 指導観

本題材は、中学校学習指導要領「音楽」より

[第1学年]

A 表現 (1) 歌唱

ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。

ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

[第2学年及び第3学年]

A 表現 (1) 歌唱

ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。

ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

に関わり、[共通事項]のリズム、テクスチャ、強弱、構成について学習することをねらいとしている。

教材曲である「HEIWAの鐘」は、沖縄のシンガーソングライターの中里幸広が作詞・作曲され、白石哲也によって混声三部合唱に編曲された作品である。鐘を表現した混声三部の豊かな響きから始まり、最後も混声三部の響きで終わる。楽曲の中間部では女声パートが主旋律と副次的な旋律に分かれ、男声パートはオブリガードになる。その後、男声パートが主旋律になり、男声パートの問いに答えるように女声パートが歌う。このことから自分のパートと他パートとのかかわりを理解しやすい楽曲といえる。以上のことから混声三部合唱のよさを味わうことのできる題材であると考えられる。

本校の生徒は、

【削除】

※テクスチュア…音楽における音や声部の多様な関わり合いのこと。

## 5. 指導計画

次/時	○学習内容 ・学習活動	◆具体の評価規準（評価方法）
第一次	<p>○混声三部合唱「HEIWAの鐘」の歌詞の内容や曲想を味わう</p> <p>・「HEIWAの鐘」を聴き、歌詞の内容や曲想について話し合う。</p> <p>○パートごとに旋律を確認する</p> <p>・範唱CDやピアノに合わせて、リズムや構成に気をつけながらパートごとに旋律を確認する。</p> <p>・リズムや構成を確認しながら合わせて歌う。</p>	<p>◆<b>関</b>混声三部合唱に関心をもち、歌詞の内容や曲想を味わって歌う学習に主体的に取り組んでいる。 （観察・ワークシート）</p> <p>◆<b>創</b>の歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを感じている。 （ワークシート）</p> <p>◆<b>技</b>リズムや構成を知覚し、リズムや構成に気をつけて歌う技能を身につけている。 （観察）</p>
第二次	<p>第3時</p> <p>○声部の役割と全体の響きとのかかわりについて考え、表現を工夫する</p> <p>・<b>C</b>19～26小節 <b>D</b>27～34小節の声部同士のかかわりや響きを確認する。</p> <p>・<b>C</b>19～26小節 <b>D</b>27～34小節のテクスチュアについて編曲者の意図を考え、交流する。</p> <p>・テクスチュアを生かした表現を工夫し、合わせて歌う。</p>	<p>◆<b>関</b>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組んでいる。 （観察・ワークシート）</p> <p>◆<b>創</b>歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 （観察・楽譜への記述）</p> <p><b>技</b>歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して合唱表現をする技能を身につけている。 （観察）</p>
	<p>第4時</p> <p>○声部の役割と全体の響きとのかかわりについて考え、表現を工夫する</p> <p>・曲全体を通した声部同士のかかわりや響きを確認する。</p> <p>・声部の役割や構成を生かした強弱表現を工夫し、合わせて歌う。</p>	

## 6. 本時案 (3/4)

○本時の目標

[第1学年]

- ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを感じ取り,表現を工夫して歌おうとしている。  
【音楽への関心・意欲・態度】
- ・歌詞の内容や曲想,声部の役割と全体の響きとのかかわりを感じ取り,どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。【音楽表現の創意工夫】

[第2学年及び第3学年]

- ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し,曲にふさわしい表現を工夫して歌おうとしている。  
【音楽への関心・意欲・態度】
- ・歌詞の内容や曲想,声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し,どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。【音楽表現の創意工夫】

○本時の展開

段階	○生徒の活動 ・ 予想される反応	□具体的教師の手立て ◆評価
確認する 3分	<p>○前時の学習を想起する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・混声三部合唱 ・ユニゾン,ハモリ,追いかけ</li> </ul> <p>○本時の学習の目標を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>歌詞の内容や曲想,各パートの役割や全体の響きを生かして表現を工夫しよう</p> </div>	<p>□曲の全体の構成について曲の流れに沿って生徒に発言させる。</p>
つかむ 見通す 10分	<p>○<input type="checkbox"/>C 19～26小節および<input type="checkbox"/>D 27～34小節の 声部同士のかかわりを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<input type="checkbox"/>Cは,ソプラノがメロディー,アルト,テノールはハモリになっている。</li> <li>・<input type="checkbox"/>Dは,テノールがメロディー,ソプラノ・アルトが追いかけて歌う。</li> </ul>	<p>□拡大楽譜に書き込むことでテクスチュアの特徴を意識させ,活動の見通しをもたせる。</p>
追究する 32分	<p>○<input type="checkbox"/>C 19～26小節および<input type="checkbox"/>D 27～34小節の歌詞の内容や曲想の変化から編曲の意図について個人で考え楽譜に記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2小節ごとのフレーズになっている。</li> <li>・特に主張したい歌詞を混声三部合唱にしている。</li> <li>・テノールの問いにソプラノとアルトが答えている感じがする。</li> </ul> <p>○個人で考えたことをパートで交流し,全体で交流する。</p>	<p>□<input type="checkbox"/>C～<input type="checkbox"/>Dまで歌ってから曲想の変化について個人で考え楽譜に記入する。パートごとに交流し,全体で交流する。</p> <p>◆歌詞の内容や曲想,声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し,どのように演奏するかについて思いや意図をもっている【創】 (観察・楽譜への記述)</p>

	<p>○<b>C</b>1 9～2 6小節および<b>D</b>2 7～3 4小節の表現を工夫して歌う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主旋律は目立つように歌う。</li> <li>・ハモリのパートは主旋律を支えるように歌う。</li> </ul>	<p>◆声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組んでいる。【関】 (観察・ワークシート)</p>
<p>ふり返る 5分</p>	<p>○本時の学習を振り返り、次回への見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートで本時の活動をふり返る。</li> </ul>	<p>□次回の予告をする。</p>

## 7. 評価

### 〔第1学年〕

- ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを感じ取り、表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組んでいる。【音楽への関心・意欲・態度】
- ・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを感じ取り、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】

### 〔第2学年及び第3学年〕

- ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、曲にふさわしい表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組んでいる。【音楽への関心・意欲・態度】
- ・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】